

第8回産学官連携推進会議 ワークショップ



独立行政法人
工業所有権情報・研修館

テーマ

大学と企業との契約・交渉の実務
～ 共同研究及びライセンス契約の鍵～

日時

6月20日(土) 12:15～13:15

会場

本館1階「Room C-2」(参加自由定員150名)

講演者

統括特許流通アドバイザー

佐々木 勝彦 : (社)発明協会 特許流通促進事業センター

特許流通アドバイザー

河面 芳 昭 : (株)キャンパスクリエイト

大澤 住 夫 : (株)信州TLO

風間 泰 寛 : (社)発明協会静岡県支部

鮫 島 正 英 : (社)首都圏産業活性化協会

概要

近年、我が国は、イノベーション創出・促進に向けた社会環境整備やイノベーションを誘発するための新たな制度の構築に取り組んでいます。このような背景のもと、各大学においても、産学官連携を進めるための体制構築や各種規定の整備等の環境整備が進められており、大学発の特許出願も増加しています。

一方、産学官連携が進展するに伴って、大学と企業との想いのずれや事業化への問題や契約交渉を行う上でいくつかの実務的な課題がでてきています。これらの課題について整理し、解決への糸口を特許流通アドバイザーが自らの経験に基づき紹介します。

特許流通アドバイザーは技術移転の公的専門家で、全国の地方自治体やTLO等に派遣しています。大学、企業等が保有する提供可能な特許の把握と企業等の特許導入ニーズを発掘し、両者のマッチングを行っています。

特許流通アドバイザー

検索